（様式１）

学校番号	63	学校名	県立牛久高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県の教育方針

校訓

明るく　たくましく　優しく

学校の教育目標

進学校として生徒一人一人の進路希望の実現を目指し、国際社会に生きる豊かな人間を育成するなど、知育・徳育・体育の全人的教育を行い、地域から信頼され存在感のある学校を目指す。

生徒の実態

生徒の大半が大学進学を希望しており、進学への意識は高い。多くの生徒は素直であり、生活面での大きな問題の発生はほとんど無く、穏やかな学校生活を過ごしている。

しかし、学習面でやや積極性に欠ける面も一部にあり、一人一人の能力はあるにもかかわらず、十分に発揮せず目標を達成しなくても安易な進路決定で満足してしまう傾向が見られる。

学校行事には熱心に参加し、部活動加入率は約8割である。

保護者の願い

・生徒・社会のルールやマナーの意義を理解し責任をもって行動できる生徒
・夢や希望の実現を目指し、あきらめずに忍耐強く取り組む生徒
・自他の生命や人権を尊重する精神と態度を持つ生徒
・社会の一員としての自覚をもち、社会の発展に貢献する生徒

道徳教育重点目標

・人生の理想を求め、何事もやり抜く　意志と態度を身につけさせる。
・相手の立場を尊重し、感謝と思いやりの心を身につけさせる。
・かけがえのない自他の生命を尊重する心を育てる。
・基本的人権を大切にし差別や偏見のない社会を目指す心を育てる。

地域の実態

「落ち着きのある安心した学校生活」及び、「生徒一人一人の進路のニーズにきめ細やかに応える学校」として、地元の期待と関心は高い。 学校の教育活動やPTA活動に理解を示し、大変協力的である。

各教科・科目

国語	適切に表現したり的確に理解する能力を育成すると共に、文章を通じて思考力を伸ばし豊かな心を育てる。
地歴公	国内外の歴史の理解を深めさせ、国際社会に主体的に生きるために必要な自覚と資質を養う。公民的資質の基礎の上に、人間としての在り方・生き方について、必要な倫理観を育てる。
数学	数学の概念や原理・法則の理解を深め、創造性の基礎を培うと共に、積極的に活用する態度を育てる。
理科	自然に対する関心や探求心を高め、科学的に探求する能力と態度、そして自然観を学び、それらを日常生活へ積極的に活用する態度を育てる。
保体	健康に留意し、生涯にわたって運動に親しむ資質を育てると共に、集団生活を通し、他者と協調して生きていくために必要な態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、豊かな情操を養い、道徳性の基礎を養う。
外国語	外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育成すると共に、異文化を理解し、相手を受け入れ、共に生きていく態度を育てる。
家庭	家族・家庭と社会の関わりについて理解させると共に、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報と情報技術を活用し問題を発見・解決する方法について理解を深めるとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深める。
総合的な探究の時間	探究に主体的・協同的に取り組み、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 実社会や実生活との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現できるようにする。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
・第1学年において、学び方やものの考え方を身につけることを通じて、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。
・第2学年では「総合的な探究の時間」において、討議型及び協働型活動を行い、「道徳プラス」で示される道徳的判断力・道徳的実践力と態度を養う。
・基本的生活習慣を身につける。
・集団における役割と責任を自覚し、集団の向上に努める。
・人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。

・各教科、道徳及び特別活動で身につけた知識や技能等を相互に関連づけ学習や生活に生かし、それらが総合的に働くようにする。
＜生徒会活動＞
・生徒会活動を通し、社会的活動への参加を推進する。
・自主・自律の精神を養う。
・環境美化活動や自然保護運動の活動を通し、奉仕勤労の精神及び環境保護の意識を育てる。
・ボランティア活動等に積極的に参加する態度を育てる。
＜学校行事＞
・諸行事の体験を通して、自主性、協調性及び豊かな心情を育てる。
・行事を通し、自己の役割の自覚や責任感、自己肯定感を培う。
・行事に積極的に参加することで、学校への所属感や愛校心を育てる。

公民科

公共

・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚し、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛しつつ各国相互の主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。

・グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。
・現代の諸課題について、事実を基に考察し、解決に向けて公正に判断する力及び合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

生徒指導

・自立の心を育み、基本的生活習慣の確立を目指す。
・さわやかマナーアップ運動を通し規範意識や公共心を育てる。
・遅刻0運動を実施し、時間を守る態度を育てる。
・講演会や集会等を通し、安全教育の充実を図る。

家庭との連携

・学年通信・学級通信・進路指導部便り・生徒支援部便り・保健便り・教育相談便り・PTA会報紙「うしく」等を通して保護者への理解を求める。
・PTAの評議員会や各種委員会により、情報交換を行う。
・授業参観や保護者面談を通して学校内の状況を伝えると共に、保護者との連携を図る。
・スマホ家庭ルール作りや登下校の安全対策などを通じて、協力体制を構築していく。

地域社会との連携

・学校生活への理解と協力を求め望ましい生徒を育てる。
・学校行事等により、本校の教育の取り組みについて理解と協力を得る。
・地域の行事に参加して交流を図り、郷土の文化の理解と発展に努める意欲を育てる。
・ボランティア活動として近隣小学校での放課後児童クラブ見守り活動や朝の読み聞かせ活動などを実施し、地域に貢献する心を育てる。